

紅友會 報

鈴鹿高女・亀山 同窓会 (亀山市本町1の521) TEL. 0598-2-1518



嬉しきたよりの 続くをのぞむ

丘友会々長 森 淳之祐

鈴鹿高女及び亀山高女は、お元気にそれぞれ各自の道にお勤めのことお慶び申し上げます。 日ごろは、母校並びに丘友会に対して、格別のご指導とご協力をいただき...



自主自律を目指して

学校長 中川 亮太

鈴鹿の山も新緑におおわれ初夏の日射がまぶしいこの頃でございます。同窓の皆様方にはご健勝で活躍のことと拝察いたしております。 昨年は森淳之祐新会長の指導と丘友会の組織の一層強化され、記念会報第二十号を発行されるなど積極的な活動を展開されました。また母校の現状についてもご助言やご援助を賜わり感謝いたしました。 昨年十一月二十一日学園祭本校講座「自主自律」の除幕式を挙行いたしました。...

同窓会館建設へ

同窓生二〇、〇〇〇名協調の輪 丘友会副会長 西川 浩

わたくしどもが記念の品を用意した予定でありますので、多数皆様方のご参加を心からお待ち申上げて居ります。又本年度は時を同じくして、第三回目を迎えました。お慶ぶ列車で丘友会をというところで、八月二十一日(金)、八月二十三日(土)にお慶ぶ列車で著光寺への旅を願望の協力を得ました。幸い本年度は第七回の卒業生であります宮田雄一氏が亀山駅長として、再度亀山の地にもとつて来られましたこと増し、前々回の、前回にも増してのご参加をいたさげました。お慶ぶ列車の中でのご参加、ホテルでの同窓会、楽しいひとときを、お過ごしください。...

地区幹事紹介!!!

- 菅内・輝野 大橋たつ子 井 尻 坂井 光栄 小下・高塚 藤原 紀子 和田地 明石 宣子 和 田 波辺 一吉 村山 孝子 栄 田 田 明石 宣子 和 田 波辺 一吉 村山 孝子 栄 田 田 明石 宣子...

総会のお知らせ

第三十九回(昭和六十一年度)丘友会総会を次のように開催いたします。ぜひご出席下さいませようお願い申し上げます。 尚、これをもって正式通知とし、各員宛には案内状を差し上げさせていただきます。 一、日時 八月三日(日)午後二時より 二、場所 亀山高女第一棟大会議室

丘友会号(第三回) 募集について 募集期間は、八月二十一日(金)二十三日(土)にかけて同窓会の皆様方と旧交を温める機会をもつべく、お慶ぶ列車の協力をいただきお慶ぶ列車を次の要領で計画致しております。 一、日時 昭和六十一年八月二十一日(金)二十三日(土) 二、行先 ぶどう狩と善光寺詣り 三、料金 三、〇〇〇円 四、問合せ 申込先 (1)丘友会事務局(亀山高校内) (2)同窓会事務局(亀山高校) (3)伊藤 文子(御幸町) TEL. 〇六九〇一七三

- 梅平尾 駒田嘉代子 東丸本丸 沢田 五男 江ヶ室 中屋敷 黒田 弓子 西丸 若山・市ヶ谷 久保田智子 西町・南崎 伊藤 安男 東御幸町・御幸町 植森 郁夫 大石 伸子 伊藤 光代 篠山 徹 西野 幸代 羽野 若 山 信子 小野・太朗寺 村山 信広 布 気 長岡 禎子 山下 貞 西川 雅 中庄 伸向谷 草川 文子 三寺 庄 野 三井 長子 三井 潤 佐藤 洋子 白木 直大 木 直太 白川 洋子 小川 佐子 小川 洋子 佐藤 洋子 白木 直大 井 尻 坂井 光栄 小下・高塚 藤原 紀子 和田地 明石 宣子 和 田 波辺 一吉 村山 孝子 栄 田 田 明石 宣子...

昭和60年度進路状況について

進路指導部主任 横山 信樹

59年度「ひのえ午」年から一転して生徒数の激増(量的激増)期に突入、進学、就職にも激しい状況が予測された60年度の進路状況が、「別表」のような結果となりましたので報告させていただきます。

●就職関係 求人倍率が前年度並みに確保されたことと、地元企業との長年にわたる信頼関係にも支えられて、概ね前年度並みの線を持続することが出来ましたが、事務職求人数の減少(これに対し「進路指導」では就職希望生の半数近くが、例年事務職を希望している)人物・学力面の一段の激進傾向→少数精鋭主義化等、今後充分な対応を要求される課題を抱えていることも事実であり、「就職だから(何とかなる)」「就職だから(安易な姿勢では)と」

●各種専修学校 医療系を除き入学自体は比較的容易な傾向にありますが、反面で選別分野(コース)に関して充分な関心と意欲がないと長教できません。こうした面では生徒のとりえ方に指導上の課題と見えます。「入れば何とかなるだろう」といった入口ではなく、「出口」の展望を踏まえた観点に立った指導、助言の

●短期大学 従前から本校とのつながりを持つ短大(県内および一部県外短大)の推薦入試に関しては、相互の信頼関係に支えられて、願望の結果をみると、しかし、前述の短大で推薦入試に学科テストを課している学校並びに一般入試においては、実力がシビアに問われ、相応の準備と努力がないと通用しないという結果が出ています。なお本校の場合、短大志願者の大半が県内私立短大で推薦希望という形をとっているのが「短大組み易し」という認識がみられなくともあります。県内私立短大の推薦においても、人物・学業面を厳しく問う

傾向を強めており、推薦であれ、試験であれ、しっかりと取り組みが不可欠であるという点を強調しておきたいと思えます。

●四年制大学 本校の場合、中堅レベルの私立大学が主要出願校になりましたが、受験生の「安全志向」も加わり、文系・理系を問わず激戦になって、生半可な学力ではとうとう合格出来ないという状況がこれまでに以上明確になってきています。いうまでもなく、大学受験戦線での勝利を期するためには、基礎学力の確立(地道な努力)が必須の前提条件となりますが、この点で全体に前向きな姿勢に欠ける面がみられ(基礎学力が不足と思われる者(努力不足)、間隙になつて低学年からの意識づけ、取り組みが課題といえます。61年度の進路について

●短期大学 従前から本校とのつながりを持つ短大(県内および一部県外短大)の推薦入試に関しては、相互の信頼関係に支えられて、願望の結果をみると、しかし、前述の短大で推薦入試に学科テストを課している学校並びに一般入試においては、実力がシビアに問われ、相応の準備と努力がないと通用しないという結果が出ています。なお本校の場合、短大志願者の大半が県内私立短大で推薦希望という形をとっているのが「短大組み易し」という認識がみられなくともあります。県内私立短大の推薦においても、人物・学業面を厳しく問う

商業科は今

商業科主任 平尾 栄司

昭和十年、亀山実業学校が設置され半世紀、その間に幾多の先輩諸氏が卒業され、各業界で活躍のごと存じます。

さて、現在の亀山高校はと申しますと、県下有数の大規模校(全学年三年三クラス)で、そのうち商業科は一年二クラス、生徒数は三年で二六九人(男四六八人、女二二三人)です。進路先については大部分が就職希望で、最近の進路状況報告でおわりの通り、本校を取り巻く現状は非常に厳しく、その一因は、各企業に於いては「OA機器の導入により事務職の求人数が激減、新設高校の増設による就職希望者の

増加等考えられます。また生徒の通学範囲の拡大により遠く津、四日市方面からの通学生対策にも苦慮されています。

次に学校の施設・設備面については、特別教室は総合実習室、商品実習室、タインツ室、文書実習室、計算実習室、情報処理室の六教室が手狭になりつつあります。また設備面ではタイプ、加算機については一人一台の台数があり、五十九年度には大型コンピュータ一式(中央処理装置、記憶装置、容量6MB、カード読取装置、毎分三〇枚、ラインプリンタ、毎分四〇〇行、コンソール十台、六十年度にはワープロを県下の

高校に先駆けて十五台導入し、順次拡充整備していく方針です。またパソコン導入も待機計画中であり、社会のニーズにあわせて新しい商業教育を目指すと共に、従来からの簿記、珠算といった基礎科目も重視し、バランスのとれた教育課程の編成に努めています。またライセンスの取得にも努力をこめて、簿記、タイプ、英語の各検定は三年間で全員三級以上合格を目指し頑張っています。またワープロ、情報処理検定といった新しいものも順次取り入れ生徒に目標をもたせ充実した高校生活を送らせていきたいと思います。

次に生活指導面について、商業科生は将来の進路先のことを考え、日々の生活態度にも厳しさをもって当たり、商業科独自の「礼儀、責任、根性」の努力目標を掲げ、一年生のうちから徹底した指導をしています。

最後に二十一世紀の亀山高校の明るい展望と、地元協力をお願いすると共に、今後のご活躍、ご多幸をお祈りいたします。

折り返した指導をしています。卒業生諸氏におかれても母校のためよりよいご意見、ご協力をいただければ幸いです。

「別表」

進路	課程	普通科		商業科		家政科	保育科
		男	女	男	女		
大(学部)	国立	1		1			
	公立						
	私立	20	6	26	19	6	1
短大	国立						
	公立						
専修学校		20	26	46	19	1	3
各種学校		5	7	12	5	3	1
小計		46	120	166	44	81	23
就職者		62	215	277	48	63	14
家事自営他		19	11	30	19	4	2
総計		127	346	473	111	148	85

●就職にあては円高不況による求人数の減少、進学にあては円高不況による受験機会の複雑化等があるが、下位者にとっては厳しくなる予測されています。おおよそそれに伴う私立大学への波及等、厳しい認識をもって臨まねばならない状況があると思えます。

転入先生の亀高の印象等

生徒のインタビューに答えた、本年度新しく本校に赴任してみえた先生方の卒直な感想です。母校の現状をお聞き下さい。

川辺 広美(国語) 地理的に物がどろく、その中でしんとして建てられている。北出 真理(社会) とても大きな規模の女子校のような学校だと思っ

た。奥田 真吾(数学) 生徒数の実が多いこと、校舎内が外々きれいなことに驚く。

寺尾 哲史(数学) 亀高の印象、高校が大きい(大きすぎると感じる)。

山本 里香(家庭) 中村 仁美(英語) 素朴な子が多い。清掃に熱心で、校舎がきれい。

山本 里香(家庭) これが、街の学校という

のところが、生徒から押しよせてくる熊野灘の波のような情熱が伝わってこない感じがします。皆さん大人なんですか、皆さんまだ子どもですか、ぶつつかたてのPOWERが刷かないのか。

吉川 俊志(事務) 改めて、大規模な高校だと感じました。「チヤムが鳴たら……」には驚

きました。山本 士郎(事務) 広く設備がよい。まったくすばらしい校舎である。山田 久志(社会) ウェイリフティングで、名前を聞いていたもので、硬派なイメージをもっていました。披露だけは、い

ても限られます。そこで、在校生の学校生活の折々に目をふれさせて自戒の糧となるよう、又友会の皆様がいづの日か母校を訪れた機に目にとめられ、在学中を偲びつつ新たな自戒の指針としていただきたく、折念し、立碑したものです。なお、この立碑を記念して中庭に庭石、樹木等を追加、再配置して整備。又記念誌「ガキ」を調整して関係者各位及び在校生に配布いたしました。これらの経費一切は、このことを期して積立てておいていただいていた六十周年記念事業の残余で賄いました。あらためてお礼申し上げます。この校風に培われた丘友会員の益々の活躍を期待いたします。以上簡潔ながら校訓立碑の報告といたします。

校訓立碑の報告

教頭 加藤 信大

本校では、昭和六十一年一月二十二日(校舎二棟間の昭和五十二年に築造された中庭の自然石に学校長中川亮太先生の筆による校訓「自主自律」を刻字した黒御影石をはめ込み校訓立碑の設置に際し、本校の歴史の深い、関係者多数の関心の深い、生徒会長、副会長の手にのし、除幕式を執行了いたしました。昭和五十七年十一月本校は創立六十周年記念行事をとり行いましたが、この事は皆様方のまだ記憶に新しいこと存じます。校訓制定のことは、その記念事業の計画を進めるなかで、主として丘友会の諸先輩の中から熱心と起った声でございました。それぞれの年代の方の在学中、様々な訓育方針に基づいて教育がなされたが、一貫して本校に流れている教育理念は何だろう、母

が六十周年の歴史を問うたこと、好成績は、是非これを追求して校訓としてほしいとの声でございました。記念式典当日に制定披露する予定で準備は進められ、申すに及ばないこと制定する迄に及らなりました。式典終了後本格的にこのことに関心する方、丘友会を中心にPTA・旧同僚会、現職員等関係者に広く呼び掛けて主旨を訴え、ご協力をお願いいたしました。幸い多数の標語をお寄せいただき、本校に一貫して流れ

きましました。山本 士郎(事務) 広く設備がよい。まったくすばらしい校舎である。山田 久志(社会) ウェイリフティングで、名前を聞いていたもので、硬派なイメージをもっていました。披露だけは、い

ても限られます。そこで、在校生の学校生活の折々に目をふれさせて自戒の糧となるよう、又友会の皆様がいづの日か母校を訪れた機に目にとめられ、在学中を偲びつつ新たな自戒の指針としていただきたく、折念し、立碑したものです。なお、この立碑を記念して中庭に庭石、樹木等を追加、再配置して整備。又記念誌「ガキ」を調整して関係者各位及び在校生に配布いたしました。これらの経費一切は、このことを期して積立てておいていただいていた六十周年記念事業の残余で賄いました。あらためてお礼申し上げます。この校風に培われた丘友会員の益々の活躍を期待いたします。以上簡潔ながら校訓立碑の報告といたします。

●転入 古高ひろ子 津西高校から 奥田 真吾 伊賀高校から 渡辺由真子 相可高校から 川辺 広美 水産高校から 増田 元彦 南島高校から 北出 真理 飯前高校から 山本 里香 木高高校から 寺尾 哲史 神戸高校から 吉川 俊志 新採用 山田 久志 山本 士郎 中村 仁美

●転出 藤城 照子 神戸高校へ 川合 幸夫 県立指導課へ 森尾 龍夫 四日市南高校へ 加藤 友明 白山高校へ 福田 一哉 津西高校へ 谷川 哲 名張西高校へ 山本 善久 名張高校へ 菅山 善久 名張高校へ 名張高校へ 山本 善久 名張高校へ 山本 善久 名張高校へ 山本 善久 名張高校へ

●退職 鈴木 頼弥 教諭(引続き特別講師) 長島 孝好 教諭 藤谷 朋子

●退職 鈴木 頼弥 教諭(引続き特別講師) 長島 孝好 教諭 藤谷 朋子

●退職 鈴木 頼弥 教諭(引続き特別講師) 長島 孝好 教諭 藤谷 朋子

クラブ活動今昔

平岡一能

小生が本校に転動してき... 運動部員... 数多く、大変活発でした...

雑感

酒井シヅ

「三浦よりつづ」... 書庫の本は十分でなくとも... 司書がおり、授業に図書館...

中央工業高校... 団体の成績が著るしく向上し... 昨今です。又たのしく思...

十年間をかえりみて

村田民生

私が、本校に転動してき... 運動部員... 数多く、大変活発でした...

男子の入部をのぞむ演劇部... 現在、部員は三年生四人... 二年生三人、一年生二人...

クラブ活動報告(定時制)

栗田千恵

定時制のクラブ活動に... 全日制のそれに比べ... 練習は、練習...

演劇部... 自由の案内」を創作... 今年度も演劇部は、二つの...